

# 仁淀川の森と水を考えるシンポジウム

豊かな海、豊かな川は、健やかな森、山から始まる

令和8年

9/27日

入場無料

14:00▶16:30

会場

佐川町立  
桜座

高知県高岡郡佐川町甲346-1 TEL:0889-22-7878



基調講演(14:10~15:10)

## 地球温暖化とアユ

～フェノロジーの変化と、その先の未来～

永山 滋也

長野大学 共創情報科学部教授

基調報告(15:50~16:20)

## アユの一生と取り巻く環境

伊與田 慎右

高知県内水面漁業センター チーフ



主催  
仁淀川漁業協同組合  
Tel.088-893-2300



【共催】 仁淀川清流保全推進協議会・仁淀川流域交流会議 (高知市・土佐市・いの町・日高村・佐川町・越知町・仁淀川町)  
【後援】 高知県、国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所、国土交通省 四国地方整備局 大渡ダム管理所、  
高知県内水面漁業協同組合連合会、仁淀川森林組合、株式会社科学技術研究所、仁淀川わくわく会議、佐川越知ライオンズクラブ、  
土佐ライオンズクラブ、伊野ライオンズクラブ、一般社団法人 仁淀ブルー観光協議会、徳相愛

仁淀川漁業協同組合は、森・川・海のつながりを大切にし、鮎をはじめとする水棲生物の健全な生育環境を守るため、流域の諸機関・諸団体と連携しながら清流保全活動に取り組んでおります。

近年、地球温暖化などの影響により、水温の上昇、藻類の減少、産卵時期の遅れなど、鮎の成長に関わるさまざまな環境の変化が確認されており、私たちは強い危機感を抱いております。そこで本年のシンポジウムでは、岐阜県長良川で鮎の生態と河川・海洋環境の変化を長期データから解析してこられた長野大学・永山滋也教授をお迎えします。永山教授は、冬季の海水温上昇が稚魚の海洋生活期間を短縮させ、成長不良や遡上時期の変化につながることを明らかにされており、鮎の一生を通じて温暖化が影響していることを研究されています。仁淀川でも同様の課題が顕在化しており、今回の講演では、これらの原因と今後の保全に向けた方向性について、最新の研究成果をもとに示していただけるものと期待しております。

流域の皆様はもとより、県民の皆様にも広くご参加いただき、清流保全活動へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 〇講師プロフィール

永山 滋也 ながやま しげや ■長野大学 共創情報科学部教授

河川生態学・応用生態工学を専門とし、河川に生息する水生生物と環境との関わりを研究している。近年は特にアユを対象とし、地球温暖化に伴う水温上昇が、生物の季節的な営み（フェノロジー）や生活史に及ぼす影響を探究。人間活動や気候変動の影響を踏まえ、山・森・農地・都市・川を一体の「流域」として捉え、生態系を保全し、その恵みを未来へつなぐための「流域生態系保全学」を目指している。1978年、宮城県仙台市生まれ。北海道大学水産学部卒業、同大学大学院農学研究科修士課程・博士課程修了。博士（農学）。国立研究開発法人土木研究所に約9年間勤務。その後、岐阜大学流域圏科学研究センターと株式会社建設環境研究所を兼務。岐阜大学地域環境変動適応研究センター、環境社会共生体研究センターの特任教員を経て、2025年度に長野大学共創情報科学部に着任。准教授を経て、現在、同学部教授。

伊與田 慎右 いよた しんすけ ■高知県内水面漁業センター チーフ

平成17年4月 高知県入庁

令和7年7月～ 高知県内水面漁業センター チーフ

## シンポジウム開催プログラム

令和8年9月27日(日) 佐川町立「桜座」

受付開始 13:30

開 会 14:00

主催者挨拶 仁淀川漁業協同組合 代表理事組合長 吉村 正男

共催挨拶・歓迎挨拶 佐川町長、仁淀川流域交流会議会長 片岡 雄司

来賓祝辞 国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所 事務所長 猪股 広典

14:10～15:10  
基調講演 「地球温暖化とアユ  
～ フェノロジーの変化と、その先の未来 ～」 長野大学 共創情報科学部教授 永山 滋也

※フェノロジー(Phenology) = 生物季節(学)

「季節的におこる自然界の動植物が示す諸現象の時間的変化およびその気候あるいは気象との関連を研究する学問」(岩波生物学辞典第4版)

質疑応答 30分

－ 休憩10分 －

15:50～16:20  
基調報告 「アユの一生と取り巻く環境」 高知県内水面漁業センター チーフ 伊與田 慎右

質疑応答 10分

閉会挨拶 16:30 仁淀川漁業協同組合 副組合長 筒井 一水